

## ■ポートランド建築視察レポート

# 中高層、CLT・NLT採用の木造建築にふれる

2018年8月29日～31日にアメリカ・オレゴン州のポートランドで開催された、第28回日米加建築専門家委員会 (BEC) において、当協会は「日本におけるツーバイフォー建築の最新動向」を発表しました。

アメリカ、カナダは、CLTやNLTなどの「マスティンバー」を構造材として利用した高層木造建築の最新情報に関する発表が大半で、高層木造の建築基準や材料の規格制定に注力している話が印象的でした。北米では国をあげて木造建築

に取り組んでおり、木造による高層建築物がさらに増えていくと思われました。

日本では、中層木造建築がようやく注目されるようになってきましたが、今後は建築基準法の改正により木造の規制緩和が進んでいきますので、これを機に中高層・大規模木造建築物が普及していくと、期待が寄せられています。

BECへの参加にあたって、ポートランド近郊の木造建築物を視察したので、以下にご紹介します。

### ウォーターフロントビル群の 開発風景



1階・2階が鉄筋コンクリートと鉄骨のハイブリッド構造、3階から7階までがツーバイフォー工法の建物。目隠しや落下防止対策が日本の建築現場とは異なります。また、木造建築にタワークレーンが使われていることに驚きました。

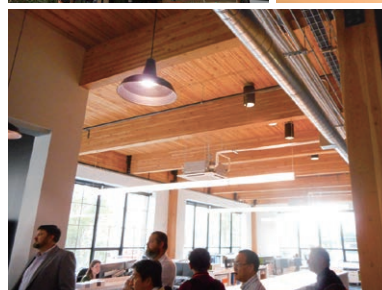
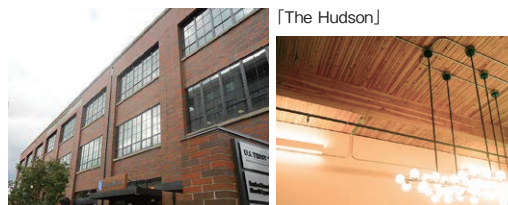
工区が分けられ工事が先行している建物もありました。こちらはサッシが取り付け、外装パネルを引っかけている作業の最中でした。



外装までほぼ完了していた建物では、重機を何台も用いて最後の仕上げ作業が行われていました。作業スペースが確保できると、このような施工も可能ということです。

### NLT採用の3階建てテナントビル

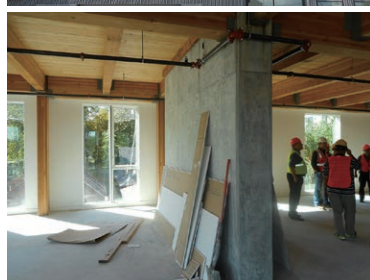
外からは、一見、鉄骨造のレンガ張りの建物ですが、柱と梁は集成材、床はツーバイ材を用いたNLTで、天井、柱、梁が木の現しになっていました。設備機器や配管などはすべて露出ですが、インテリアの一部としておさまっています。床にはコンクリートを敷き均し、構造として一体化しており、遮音の効果もあるようです。



### 鉄筋コンクリート+集成材の ハイブリッド構造5階建てビル



鉄筋コンクリートと集成材のハイブリッド構造による5階建ての建築中の複合ビルです。外観では木質感は感じられません。中に入ると、柱および梁、天井は木材ですが、ところどころに鉄筋コンクリートの壁があり、日本では見ることのできない混構造でした。鉄筋とコンクリートが木床の上に施工されているのが確認できました。



### CLT採用の8階建て共同住宅



「Carbon12」

CLTを使って建築されたこの建物は1階がテナント、2階から8階が共同住宅で、センターにエレベーターが配置されています。外観からは木造とは思えませんが、窓から見える天井のCLTの現しが木質感を出していました。



視察の途中、ポートランドの住宅街を散策しました。緑が多く、道路は広く、敷地面積が大きいのが特徴です。平屋もしくは2階建ての住宅がほとんどで、古い欧米風の外観が多く、デザインに統一感が感じられました。